



NISSAY

2022年度第1四半期 業績の概要

2022年8月9日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況


2 国内生命保険事業

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険料等収入

 1兆5,058億円

〔 対21年4-6月 +11.0% / 対19年4-6月 +5.8% 〕

- グループ各社で増収となり、対21年4-6月・対19年4-6月ともに増収

基礎利益

 1,424億円

〔 対21年4-6月 ▲2.4% / 対19年4-6月 +50.2% 〕

- 日本生命は増益も、国内生命保険子会社の減益を主因に減益

新契約年換算保険料

 829億円

〔 対21年4-6月 ▲6.1% / 対19年4-6月 ▲21.4% 〕

- ニッセイ・ウェルス生命等で増加も、貯蓄性商品の料率改定の影響を主因とした日本生命の減少により対21年4-6月で減少

保有年換算保険料

 4兆5,814億円

〔 対22年3月末 +0.3% 〕

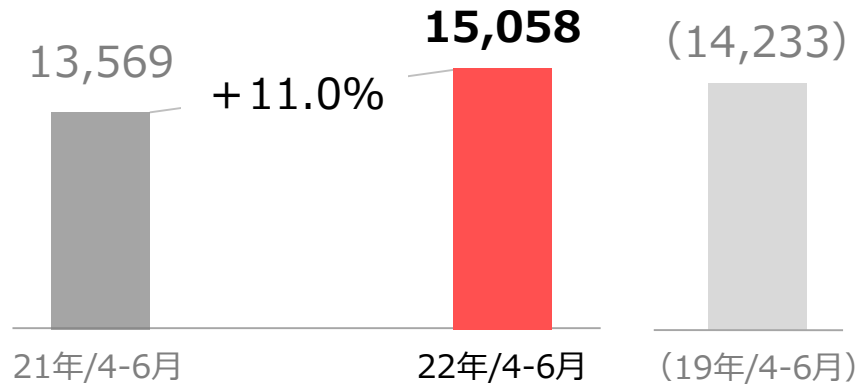
- 日本生命は新契約の減少を主因に減少も、ニッセイ・ウェルス生命の増加を主因に対22年3月末で増加

個人保険・個人年金保険
国内生命保険

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入

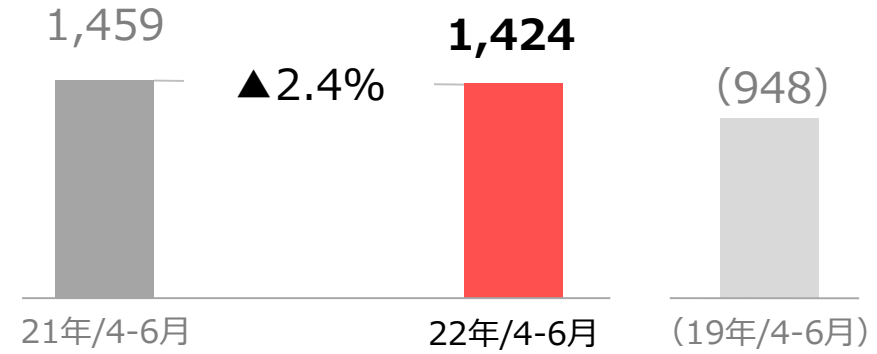
(単位：億円)



	2022年 4-6月		対19年 4-6月
	2021年 4-6月	対21年 4-6月	
保険料等収入	15,058	+11.0%	+5.8%
日本生命	11,627	+6.5%	+2.3%
大樹生命	1,788	+43.7%	+14.0%
ニッセイ・ウェルス生命	1,049	+22.8%	+37.8%
はなさく生命	45	+71.5%	*
MLC	461	+4.8%	+4.6%

基礎利益

(単位：億円)



	2022年 4-6月		対19年 4-6月
	2021年 4-6月	対21年 4-6月	
基礎利益	1,424	▲2.4%	+50.2%
利差益	940	+188.2%	*
保険関係損益	572	▲50.7%	▲54.0%
日本生命	1,492	+9.6%	+77.1%
大樹生命	51	▲39.5%	+0.7%
ニッセイ・ウェルス生命	22	▲73.0%	▲62.7%
はなさく生命	▲53	▲22.7%	▲333.7%
MLC	7	▲29.1%	▲78.6%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

* 対比数値が僅少なため、1,000%を超える増加率

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

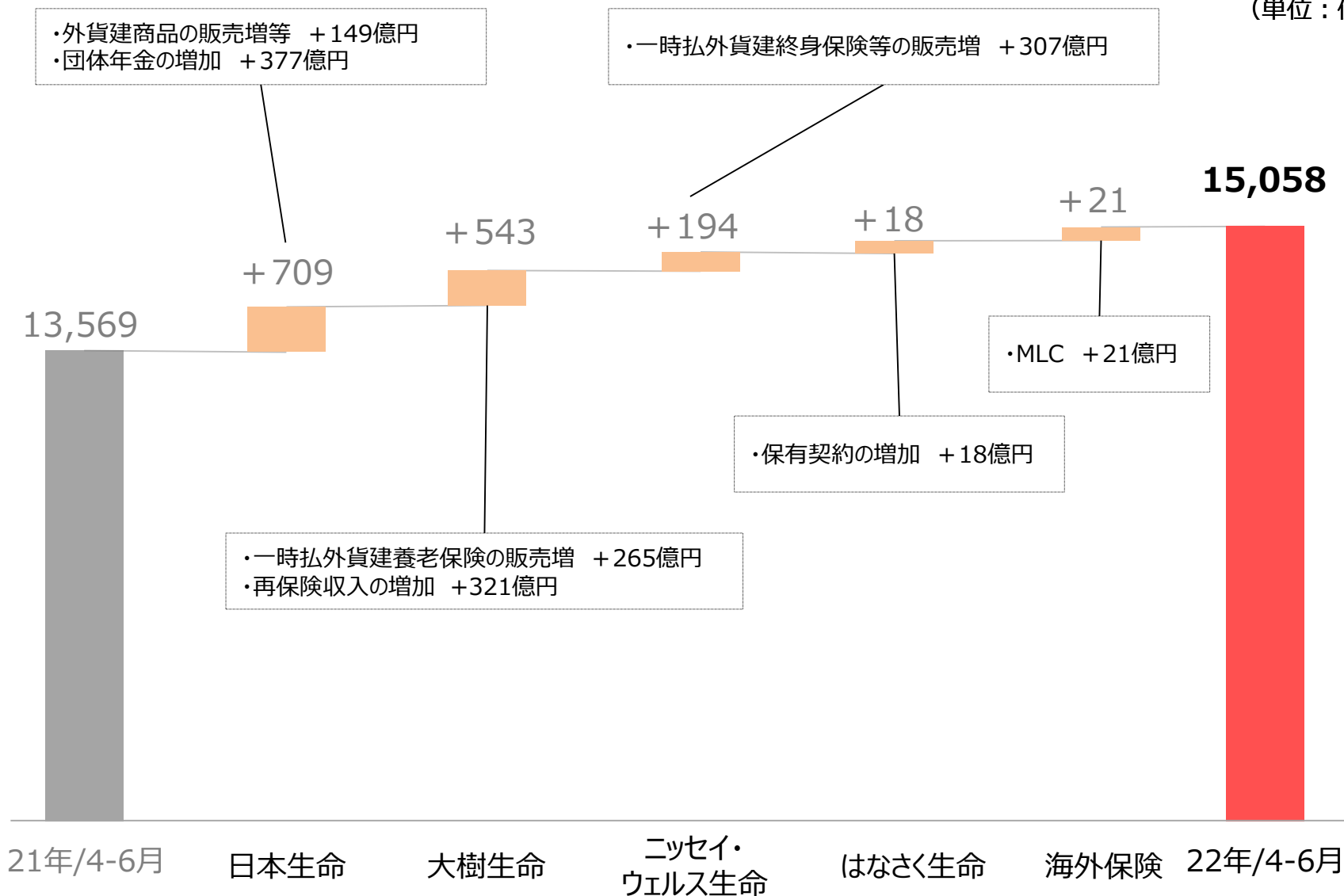
※ 利差益および保険関係損益は国内生保の合計

※ 2022年度の中間状況表および決算状況表から改正が予定されている基礎利益の計算方法に基づいて算出

* 19年4-6月数値がマイナス、当年度数値がプラスにより、増加率算出不可

③ 保険料等収入

(単位：億円)

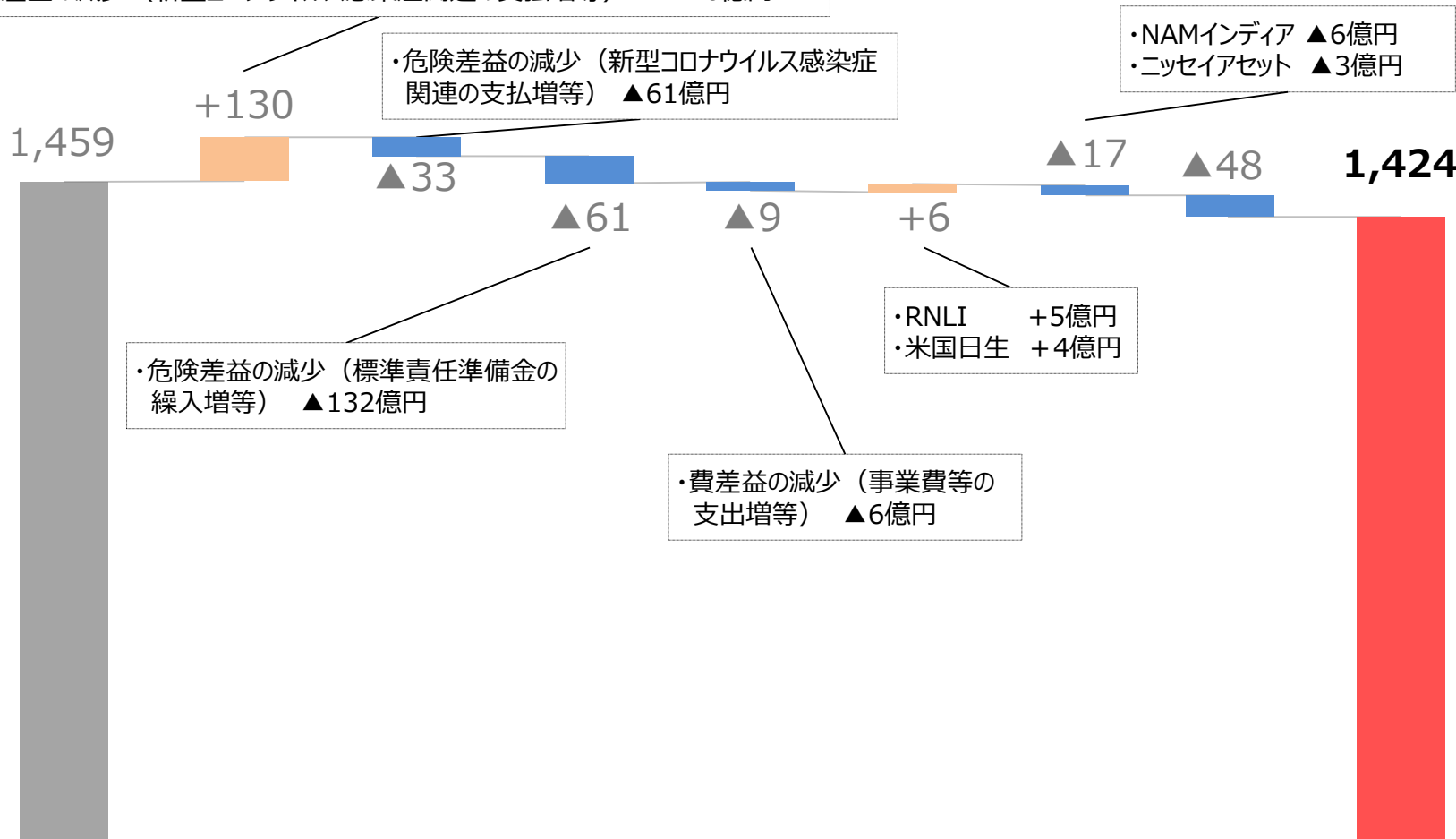


※ 合計値は連結保険料等収入 (日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、ニッセイ・プラス少額短期保険、MLC、米国日生を対象に算出)

④ 基礎利益

・利益益の増加（投信分配金の増加および円安の影響等） +528億円
 ・危険差益の減少（新型コロナウイルス感染症関連の支払増等） ▲426億円

（単位：億円）



・危険差益の減少（標準責任準備金の繰入増等） ▲132億円

・危険差益の減少（新型コロナウイルス感染症関連の支払増等） ▲61億円

・NAMインディア ▲6億円
 ・ニッセイアセット ▲3億円

・RNL I +5億円
 ・米国日生 +4億円

・費差益の減少（事業費等の支出増等） ▲6億円

21年/4-6月 日本生命 大樹生命 ニッセイ・ウェルス生命 はなさく生命 海外保険 アセットマネジメント その他 (配当消去) 22年/4-6月

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

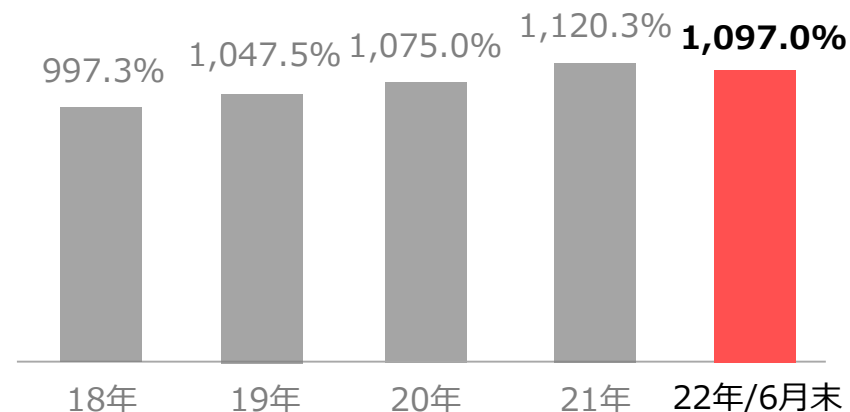
※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント、RNL I：リライアンス・ニッポンライフ・インシュアランス、NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント

※ 2022年度の中間状況表および決算状況表から改正が予定されている基礎利益の計算方法に基づいて算出

⑤ 健全性

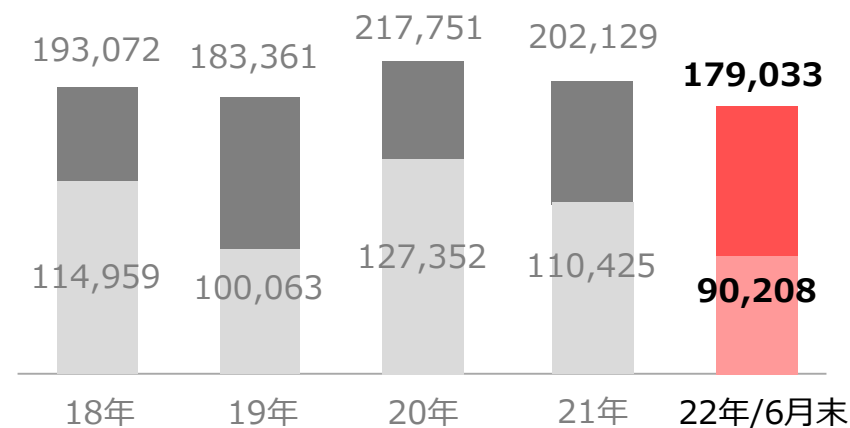
- ソルベンシー・マージン比率は、
 その他有価証券の含み益の減少に伴い、
 対21年度末で減少。
- 実質純資産は、自己資本を積み増した
 ものの、有価証券の含み益の減少により、
 対21年度末で減少。

ソルベンシー・マージン比率



(単位：億円)

実質純資産



有価証券含み損益

※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、対21年4-6月で減少。
- 四半期純剰余は、対21年4-6月で減少。

(単位：億円)

	2022年 4-6月	対21年 4-6月
経常収益	25,466	+20.6%
保険料等収入	15,058	+11.0%
資産運用収益	9,848	+41.9%
経常費用	25,342	+32.5%
保険金等支払金	13,954	+19.8%
資産運用費用	4,088	+448.4%
事業費	2,016	+0.4%
経常利益	123	▲93.8%
(基礎利益)	1,424	▲2.4%
特別損益	▲110	+91.5%
四半期純剰余(利益)	152	▲70.3%

貸借対照表

- 対22年3月末で総資産は減少、負債は増加。
- 純資産は、対22年3月末で減少。

(単位：億円)

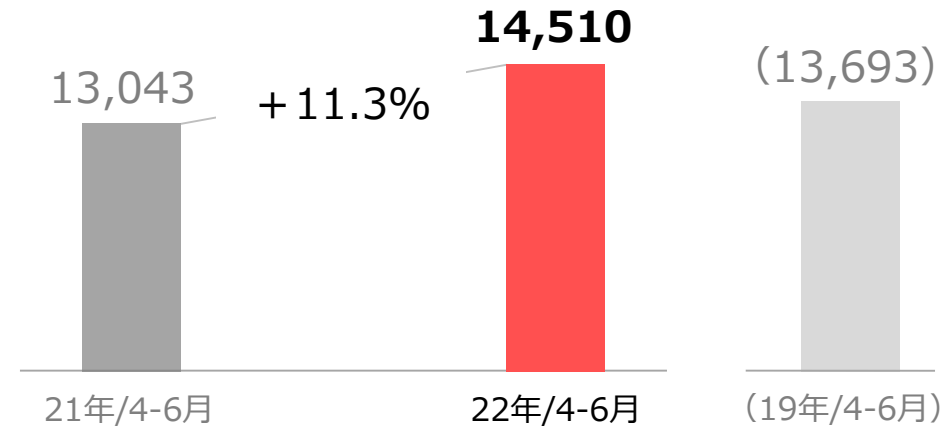
	2022年 6月末	対22年 3月末
総資産	880,418	▲0.4%
うち有価証券	729,099	▲0.6%
うち貸付金	84,762	+0.5%
うち有形固定資産	18,781	+0.1%
負債	808,584	+0.7%
うち保険契約準備金	705,280	+0.9%
うち責任準備金	690,224	+0.7%
うち価格変動準備金	16,939	+0.6%
純資産	71,833	▲10.8%

① 保険料等収入

- 海外金利の上昇に伴う外貨建商品の販売増加および団体年金の増加を主因に、対21年4-6月で増収。
- 対19年4-6月では、団体年金の増加等により増収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2022年 4-6月	対21年 4-6月	対19年 4-6月
保険料等収入（国内計）	14,510	+11.3%	+6.0%
うち個人保険・個人年金保険	9,534	+8.9%	▲3.0%
営業職員チャンネル	6,781	+4.0%	+0.9%
代理店チャンネル	1,045	+16.5%	▲2.4%
銀行窓販チャンネル	1,707	+27.3%	▲16.0%
うち団体保険	799	+1.7%	+3.9%
うち団体年金保険	3,648	+10.9%	+24.8%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料・件数・保障額等は、対21年4-6月・対19年4-6月ともに減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2022年 4-6月	対21年 4-6月	対19年 4-6月	2022年 4-6月	対21年 4-6月	対19年 4-6月	2022年 4-6月	対21年 4-6月	対19年 4-6月
国内計	829	▲6.1%	▲21.4%	120	▲4.3%	▲10.1%	17,787	▲25.8%	▲19.7%
営業職員チャネル	388	▲18.9%	▲18.3%	112	▲5.5%	▲11.8%	11,642	▲35.4%	▲37.6%
代理店チャネル	151	+9.4%	+85.2%	5	+7.5%	+117.7%	4,226	▲7.4%	+234.4%
銀行窓販チャネル	289	+8.3%	▲42.0%	2	+40.9%	▲37.7%	1,893	+35.2%	▲16.1%
日本生命	500	▲13.4%	▲12.6%	112	▲5.0%	▲11.8%	13,030	▲33.3%	▲31.8%
大樹生命	71	+9.0%	▲30.7%	3	▲12.2%	▲43.8%	1,619	▲7.7%	▲32.5%
ニッセイ・ウェルス生命	235	+5.9%	▲38.0%	1	+42.4%	+85.5%	1,220	+40.4%	+85.0%
はなさく生命	22	+19.4%	*	3	+17.8%	*	1,917	+5.7%	-

* 対比数値が僅少なため、1,000%を超える増加率

③ 保有契約

- 個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険は増加、団体年金保険は減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2022年 6月末	対22年 3月末	2022年 6月末	対22年 3月末	2022年 6月末	対22年 3月末
国内計	45,814	+0.3%	3,801	+0.2%	1,740,753	▲0.5%
日本生命	37,601	▲0.3%	3,478	+0.2%	1,522,890	▲0.7%
大樹生命	5,122	+0.1%	258	▲0.6%	171,470	▲1.0%
ニッセイ・ウェルス生命	2,916	+7.2%	36	+2.0%	36,258	+6.3%
はなさく生命	174	+12.3%	27	+12.4%	10,134	+21.0%

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2022年 6月末	対22年 3月末	2022年 6月末	対22年 3月末
国内計	1,099,580	+0.1%	184,001	▲0.5%
日本生命	982,212	▲0.0%	140,128	+0.8%
大樹生命	117,367	+1.4%	7,285	▲6.7%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高（29,536億円）、確定拠出年金の投資信託（日本生命販社分7,039億円）を含む

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2022年 4-6月
死亡保険金		約570件 約50.8億円
	災害保険金	約90件 約5.7億円

■ 給付金のお支払い

		2022年 4-6月
入院給付金		約273,400件 約386.1億円
	みなし入院	約264,430件 約371.9億円

【参考】2021年度の新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金について

■ 保険金のお支払い

		2021年度	
		4-6月	
死亡保険金		約1,930件 約163.9億円	約590件 約55.0億円
	災害保険金	約300件 約17.9億円	約90件 約5.8億円

■ 給付金のお支払い

		2021年度	
		4-6月	
入院給付金		約151,610件 約226.8億円	約13,530件 約19.5億円
	みなし入院	約133,500件 約198.8億円	約9,340件 約13.1億円

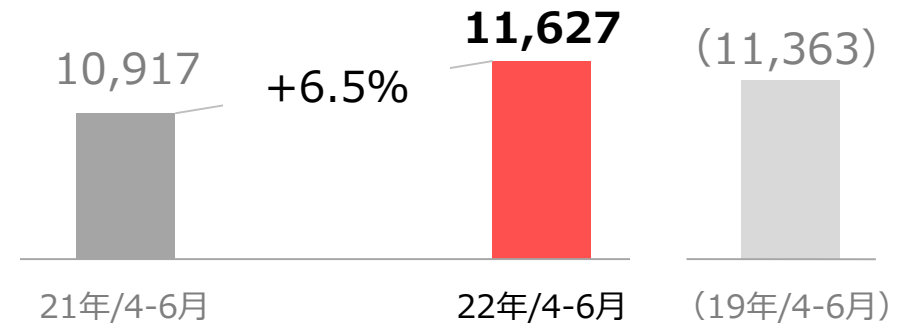
【参考】
グループ各社の概況

【参考】日本生命（単体）：収支

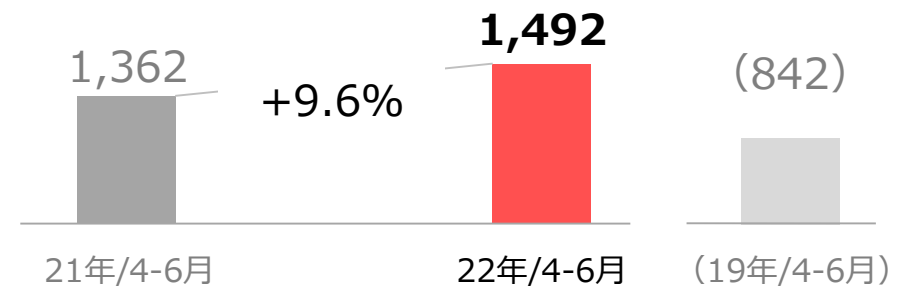
- 日本生命単体は、対21年4-6月で増収・増益。
- 保険料等収入は、海外金利の上昇に伴う外貨建商品の販売増加および団体年金の増加を主因に、増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症に係る給付金支払の増加等により、危険差益が大幅減少となった一方、投信分配金の増加や円安による利差益の増加により増益。

保険料等収入

（単位：億円）



基礎利益



	2022年 4-6月	対21年 4-6月	対19年 4-6月
基礎利益	1,492	+9.6%	+77.1%
利差益	837	+170.6%	*
費差益	99	+39.9%	▲15.4%
危険差益	555	▲43.4%	▲43.3%

* 19年4-6月数値がマイナス、当年度数値がプラスにより、増加率算出不可

【参考】 日本生命（単体）：資産運用

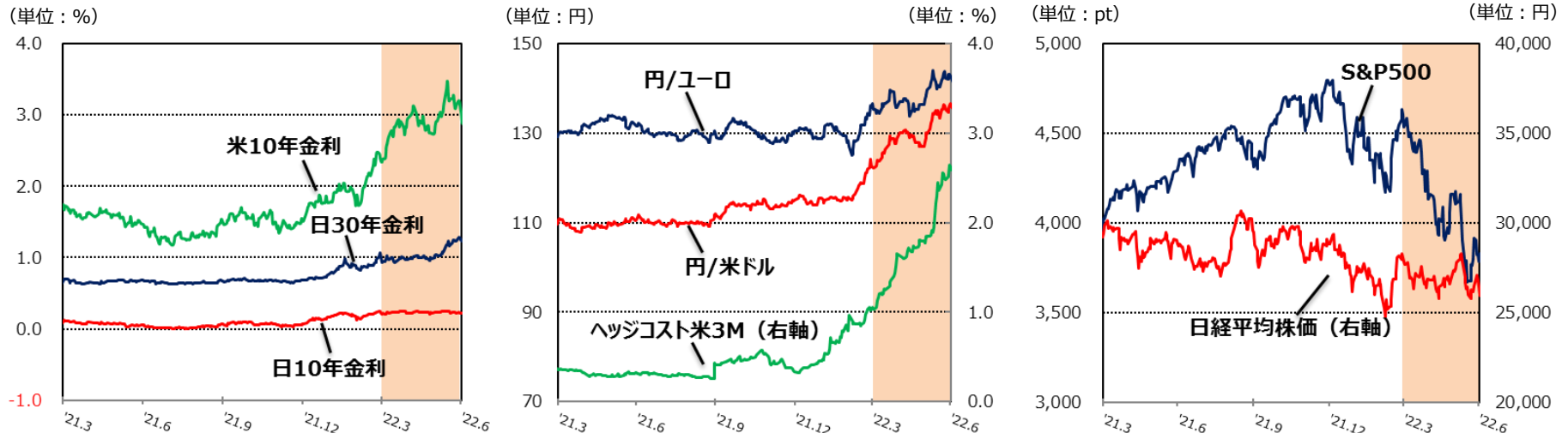
- 資産運用収支は、対21年4-6月で減少。
- 資産運用収益は、投信分配金の増加や円安の影響を受けた利息及び配当金等収入の増加、ならびに為替差益の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加により増加。

資産運用収支（一般勘定）

（単位：億円）

	2022年 4-6月	対21年 4-6月
資産運用収益	6,499	+241
うち利息及び配当金等収入	3,914	+587
うち有価証券売却益	1,896	▲979
うち為替差益	547	+542
資産運用費用	2,491	+2,000
うち有価証券売却損	2,116	+1,973
うち有価証券評価損	40	▲7
うち金融派生商品費用	0	▲11
資産運用収支	4,008	▲1,758

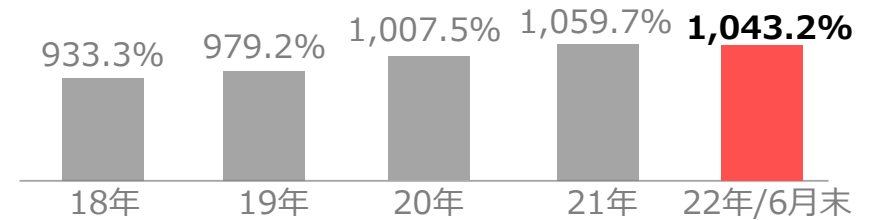
マーケット状況



【参考】 日本生命（単体）：健全性

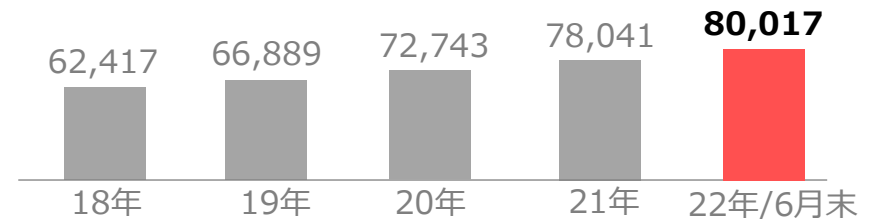
- ソルベンシー・マージン比率は、
 その他有価証券の含み益の減少に伴い、
 対21年度末で減少。
- 有価証券の含み益は、内外金利の上昇
 や株価下落を受けて、対22年3月末で
 減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

	2022年 6月末	対22年 3月末
有価証券	90,074	▲ 16,714
公社債	11,442	▲ 9,908
国内株式	52,806	▲ 3,444
外国証券	25,925	▲ 2,197
その他	▲ 99	▲ 1,164

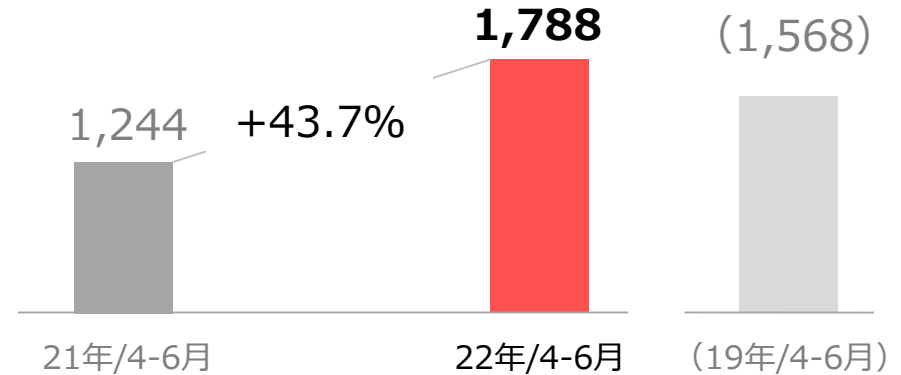
※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

【参考】 大樹生命

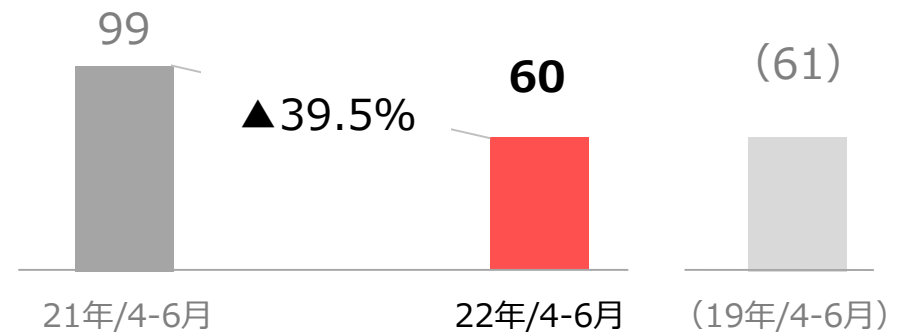
- 大樹生命は、対21年4-6月で増収・減益。
- 保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増加を主因に増収。
- 基礎利益は、新型コロナウイルス感染症に係る給付金支払の増加による危険差益の減少により減益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



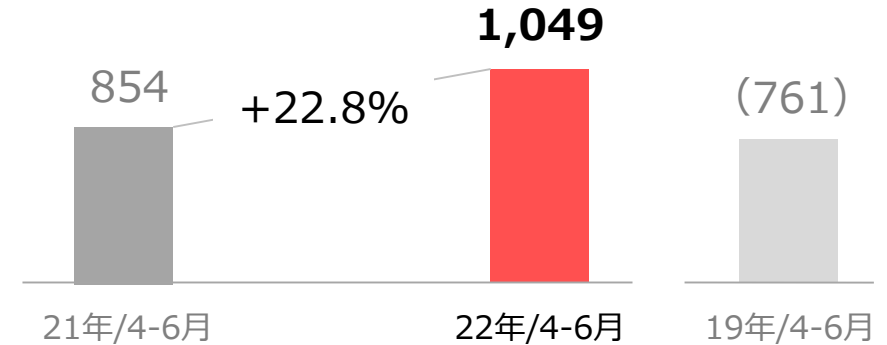
※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

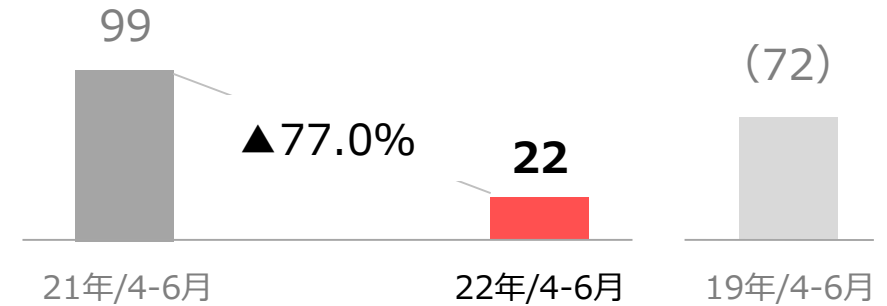
(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は、対21年4-6月で増収・減益。
- 保険料等収入は、一時払外貨建終身保険等の販売増加を主因に増収。
- 基礎利益は、標準責任準備金の繰入増による危険差益の減少により減益。

保険料等収入



基礎利益



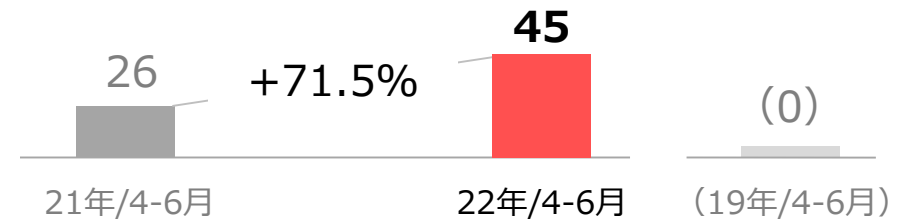
※ 単体の数値を記載

【参考】 はなさく生命

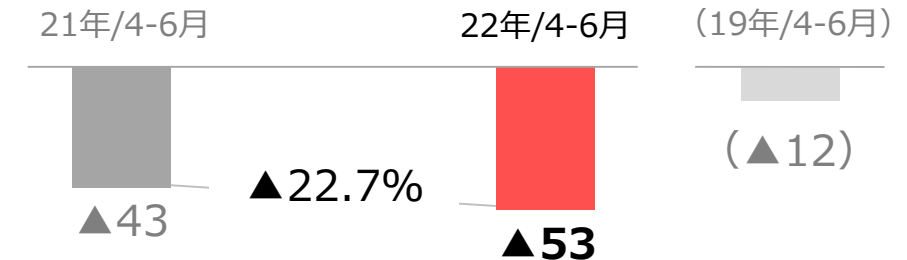
(単位：億円)

- はなさく生命は、対21年4-6月で増収・減益。
- 保険料等収入は、保有契約の着実な拡大により増収。
- 基礎利益は、事業拡大に伴う事業費等の支出増を主因に減益。

保険料等収入



基礎利益



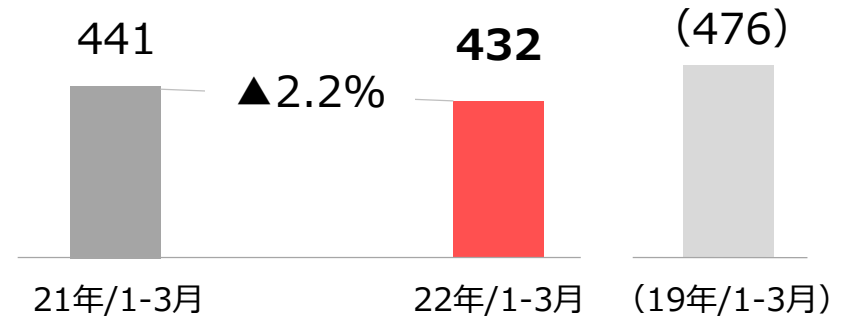
※ 単体の数値を記載

【参考】 MLC

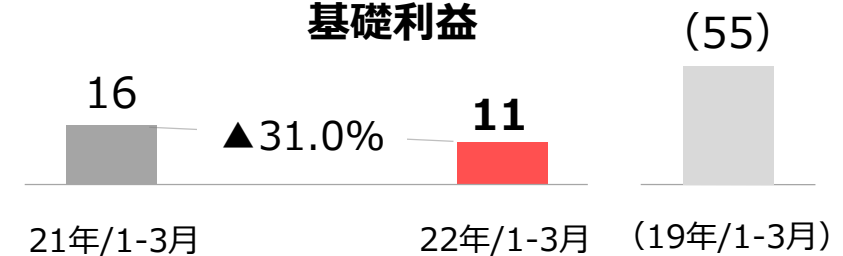
- MLCは、対21年1-3月で減収・減益。
- 収入保険料は、個人保険領域および銀行窓販領域の減少により減収。
- 基礎利益は、個人保険領域の死亡保障等の収支悪化を主因に減益も、黒字を確保。

(単位：百万豪ドル)

収入保険料



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 第1四半期決算では1-3月期を連結反映